

広報



笑顔とがんばりの町

おのまち

Public Relations ONOMACHI



たかむら踊り
小野町商工会

夏の風物詩

夏まつり恒例のたかむら踊りが宿われ、会場では多くの人を楽しみました。(写真はたかむら音頭保存会の皆さん)【関連記事：11ページ】

2018

9

No.667

第26回サマーキャンプ中学生の翼 グレンロックで学んだこと

今年で26回目を迎えたサマーキャンプ中学生の翼には中学2年生の14人が参加し、8日間の日程で研修が行われました。その研修内容を報告します。

7月31日(火) (日本時間)

団員は、保護者、町関係者に見送られ全員元気に出発しました。アメリカニュージャージー州グレンロックまでは、約12時間の長旅です。

団員は、大きな期待と、少しの不安を抱いていたことでしょう。午後5時、団員を乗せた飛行機は、一路アメリカニューアーク空港に向けて飛び立ちました。

(アメリカ時間) 7月31日(火)

飛行機は無事、アメリカニューアーク空港に着陸しました。初めて見るアメリカは団員の目によく映ったでしょう。グレンロックへは、バスで1時間ほどです。

いよいよホストファミリーの待つグレンロックへ到着しました。長旅の疲れは若干見えますが、みんな元気にあいさつを交わし、グレンロックの皆さんの歓迎を受けました。会場には、グレンロック町長のブルース・J・パッカーさんも駆け付けてくださいました。団員も緊張していたと思いますが、ホストファミリーのあたたかな歓迎を受けて、思わず笑みがこぼれます。

この後、あたたかな雰囲気の中、ホストファミリーとの交流が始まります。緊張もあって、うまく伝えられないこともしばしば。かたことの英語、ジェスチャーを使つての自己紹介をしました。

歓迎会終了後、ホストファミリーと帰宅します。どんな家族なのか、どんな家族なのでしょう、期待に胸がふくらみます。



2



1



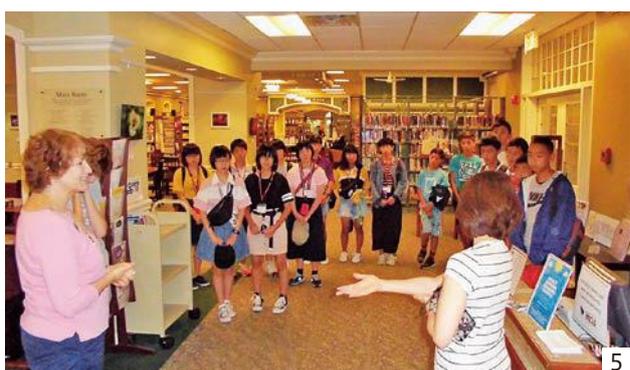
4



3



6



5

サマーキャンプ中学生の翼

8月1日(水)

今日は、グレンロックの公
共施設を5カ所訪問します。
残念ながら天候は雨でしたが
団員は興味津々です。

1カ所目は図書館。幼児が
遊ぶことのできる大きなジェ
ンガや図書と連携してお菓子
を作る道具もあり、貸し出し
もするそうです。英語だけで
なくいろいろな国の図書があ
ります。もちろん日本語もあ
りました。

2カ所目は救急隊。隊員の
ほとんどがボランティアとい
うことに驚きを隠せません。
日本とは違い、消防と救急が
分かれています。

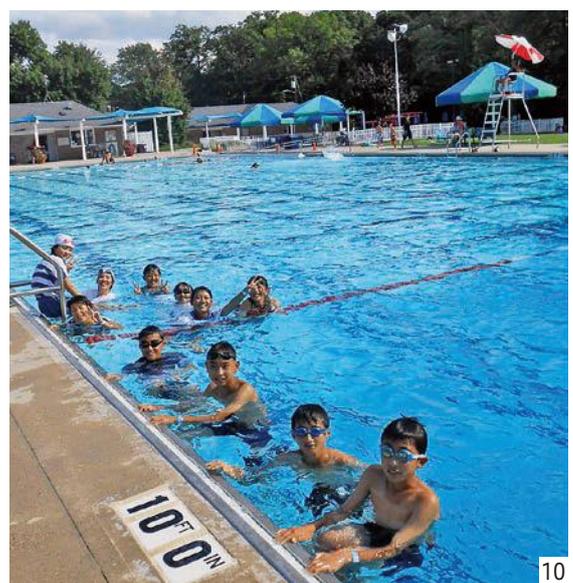
3カ所目は消防隊。こちら
もほとんどがボランティア。
高校生くらいの方もいて驚き
ました。有事の際は20kg以上
もある装備を身につけて、災
害現場へ駆け付けます。

さらに訓練には男性と女性
の差はいっさいないとのこ
と。さすが男女平等の国アメ
リカです。

4カ所目は警察署。拳銃の
所持が自由な国アメリカで
は、それを取り締まる警察官
も重装備。グレンロックはと
ても治安の良い町ではありま
すが、それでも何があるかわ
かりません。



最後は役場。会議の際は、町
民だれでも参加でき、質問した
り意見を述べたりすることがで
きるそうです。グレンロック
という地名は、氷河期に大き
な岩が流れ着いたことに由来
するそうです。その岩が町の
シンボルになっています。
その後天気も好転し、予定
通りプールでの交流をしまし
た。日本とは違いアメリカの
プールは足も着かない深い場
所があり、初めて泳ぐ時はス
イミングテストがあります。
団員はもちろん全員合格しま
した。
午後5時30分に2日目の日程
も無事終了。ホストファミリー
と帰宅します。団員も少しずつ
慣れてきたことでしょう。



1_ニューアーク空港でバスの運転手さんと 2_佐久間団長(左)とグレンロック町長 3_ホストファミリーと対面 4_ホストファミリーと会食 5_説明をいただき図書館を見学 6_救急隊の装備を体験 7_消防隊の装備を体験 8_警察署内部を見学 9_グレンロック役場での記念撮影 10_プールでの交流 11_グレンロックの象徴 大岩の前で

8月2日(木)

今日は、アメリカ最大の都市、ニューヨークを見学します。

まずは多くの団員が見学を望んでいた自由の女神。リバティーアイランドという島にあります。初めて生で見る自由の女神は、団員の目にどう映ったでしょう。

次は9・11アメリカ同時多発テロの現場となったグラウンド・ゼロを訪問しました。ここでの悲惨な事件が起きました。団員が生まれる前のことですが、妙な面持ちになります。

次は世界の交差点と呼ばれるタイムズスクエアを訪問しました。本当に人が多いです。

見学の最後は、エンパイアステートビルに登ります。天気予報は雨でしたが、晴天に恵まれマンハッタンが一望できました。

今日は一日、たくさん歩きました。乗り物酔いをした団員もいましたが、全員元気です。



8月3日(金)

今日は、ボランティア体験をします。

まずはグレンコート高齢者施設を訪問して、高齢者の皆さんに折り紙を教えたり、ウノやトランプをしたりして交流を深めました。最初はなかなか話し出せなかった団員も、ゲームなどを通じて最後は楽しく交流できました。

午後は、シルキー樹木園での奉仕作業を体験します。この公園は、有志の出資者により運営されている樹木園で、グレンロック町の管理下にあります。

ここでは植栽や遊歩道の整備が順次行われており、そのお手伝いをします。具体的には雑草の除去、木材のチップを運んで遊歩道の整備を行いました。みんな汗だくになりながら作業しました。

アメリカを訪問して、早くも4日目が終わりました。団員もだいぶアメリカでの生活に慣れたようです。

サマーキャンプ中学生の翼

8月4日(土)



17

今日は、終日ホストファミリーと過ごす日です。

ニューヨーク見学に向かう家族、遊園地を訪れる家族、野球観戦に行く家族、それぞれがホストファミリーとの交流を楽しみます。

団員の中には日本の文化を紹介した人も。素晴らしい交流ができたものと思います。

8月5日(日)

今日も夕方までは、ホストファミリーと過ごす日ですが、グレンロックで過ごす日は最終日。みんなどんな思いで過ごしたことで



18

夕方、5時から送別会が行われました。

まずは会食して交流を深めます。団長、リーダーのあいさつのおと、団員の出し物を行いました。二人羽織やダンスなどを披露し、拍手喝采を浴び爆笑を誘いました。

最後には団員からお世話になったホストファミリーへ花束を贈呈し、送別会の幕を閉じました。

初めてホストファミリーに会った時は、みんな緊張していましたが、今では心からの笑顔が見えます。

ホームステイも今日で終わり。団員の心に去来するのはどんな思いでしょうか。



20



19



22



21

12_自由の女神へのフェリー 13_自由の女神の前で記念撮影 14_グラウンドゼロを見学 15_タイムズスクエアにて 16_エンパイアステートビルにて 17_高齢者施設で折り紙を説明 18_高齢者住宅でダンスを披露 19_シルキー樹木園で除草作業 20_日本の書道を紹介 21_食事を取りながら交流 22_アメリカのお菓子スモアに挑戦 23_団員とホストファミリーの子どもたちで記念撮影



23

8月6日(月)

いよいよお別れの朝を迎えました。

長いようで短かった1週間。すてきな思い出と、すばらしい体験ができた1週間でした。

別れを惜しみ、涙を流す団員もいます。団員が口をそろえて発した言葉は「まだ帰りたくない。もっといたい」その言葉が、この1週間を物語っていると思います。

「アメリカではさようならとは言わない。See you again(また逢いましょう)というのです」以前ホストファミリーが言った言葉です。

再会を約束し、団員は家族の待つ日本へ向け出発します。

(日本時間)8月7日(火)

午後6時過ぎ、団員は無事に小野町に帰ってきました。

団員の感想を聞くと「言葉は違っても、心は通じる」「アメリカの文化を感じ、日本の文化を見直すきっかけとなった」など、大きな成果があったものと思われま

アメリカのホストファミリーを始め、現地で指導に当たってくださったステイブンさん、クリスティンオブライエン夫妻、関係者の皆さんに深く感謝申し上げます。



お別れの朝、全員で記念撮影

団員からの報告

2年3組 大和田 夏紀
『笑顔で頑張ることの大切さ』

初めての海外研修、言語の異なる地で1週間過ごすのはとても楽しみでもありましたが、同時にとても不安でした。しかしグレンロックの方々、あたたかい笑顔に触れ、会話をしているうちに少しずつ不安は消えていきました。不安だから下を向いているのではなく、上を向いて笑顔で頑張っていくことの大切さをグレンロックの方々から教えていただきました。1週間というのはとても短い期間でしたが、この1週間は私の考え方を大きく変えてくれました。言語の壁を越える笑顔の力をあらためて知ることにもなりました。どんなに歳をとっても忘れることはありません。今回の1週間の研修は、私の一生の宝物になりました。研修に参加させていただき、本当にありがとうございました。



大和田さん(右から2人目)

2年3組 西牧 亜実
『平成最後の夏』

私の研修の目標は「失敗を恐れず、チャレンジ精神を忘れずに行動すること」でした。初めは自発的に前に出ることがなかなかできませんでしたが、アメリカで生活をしているうちに、自分に自信が付き、積極的に行動することができるようになりました。完璧な英語は話せなくても、単語を並べ、手や体を使ったジェスチャーで、相手に自分の思いを伝えることができるということを学びました。アメリカの方々とは、とてもフレンドリーで、たくさんお話ができ、楽しい充実した日々を送れました。平成最後の夏、8日間という長いようで短い期間をアメリカで過ごし、たくさんの経験をjして、思い出を作ることができ、とても良かったです。



西牧さん(左)

2年1組 秋田 夢侑
『今回の研修で感じたこと』

僕は、今回の研修を通して感じたことが2つありました。まず1つ目は、文化の違いについてです。アメリカでは食事が日本とは違い、主食がパンやパスタなどが多かったことと家の中で靴をはいて生活することです。

2つ目は、言語の違いについてです。自分は英会話が苦手な緊張していましたが、ホームステイ先の家族とコミュニケーションを取るとき、ジェスチャーや知っている単語などをうまく使って伝えることができました。

今回の研修で、アメリカの文化と日本の文化の違いが分かり、日本の文化が素晴らしいことをあらためて実感しました。



秋田さん(左)

サマーキャンプ中学生の翼



遠藤さん(左から2人目)

私は、コミュニケーション能力を高め、自分に自信をもてるようになることを目標にしてサマーキャンプに参加しました。7日間ホームステイをしてみても自分の知っている単語を使ったりジェスチャーを使ったりして、研修前よりもコミュニケーションがとれるまでに成長できました。実際にアメリカという異国の地に行って生活してみても、言葉や文化が違っても伝えようとする積極的な気持ちが大切だということを学びました。言葉の壁を乗り越えて、グレンロックの方々と交流できて良い研修になりました。今回の「サマーキャンプ中学生の翼」を通して学んだこと、感じたことを自分の将来に生かしたいと思っています。私の心に一生残る研修になりました。

2年1組 遠藤 凜
『サマーキャンプを通して』



吉田さん(右から2人目)

私がこのサマーキャンプでできることができた思い出は、大半がホストファミリーとの思い出です。私のホストファミリーは夜にもいろいろな所に連れていってくれました。おかげで、さまざまな経験や体験をすることができました。本当に楽しかったです。そして私がこの研修で成長したと思うところは、自分に自信をもてるようになったことです。私は外国人の方と英語を話すたびに少しずつ自分に自信をもてるようになりました。おかげで、最終日のニューアーク空港では外国人の方の荷物物を、本人に届けることができました。この経験などを今後の生活や将来に生かしたいです。

2年1組 吉田 凜
『サマーキャンプで得たもの』



磯さん(左)

僕は先進国のトップに立つアメリカに行きとても驚いたこと見習いたいこと、ホストファミリーに感謝したいことがありません。アメリカにある食べ物、なにかも大きくてとても驚きました。また食べ物に関しては、朝は軽く、昼と夜は豪華という感じでこれも驚きました。アメリカ人はとても優しく他人に道を聞かれても、笑顔で一緒に連れて行ってくれたり、他人に気軽に笑顔で話し掛けたりして、仲良くなってしまうことを僕も見習い、もっと小野町の人と仲良くなりたいと思います。ホストファミリーは緊張していた僕に気軽に話し掛けてくれて、それにいろいろな場所に連れて行ってとても感謝しています。

2年2組 磯 友晴
『アメリカに行って感じたこと』



今泉さん(左)

僕がサマーキャンプで一番思い出に残っていることは、グレンロックの人たちのあたたかい気づかいです。僕は全然英語を話すことができませんでしたが、でもグレンロックの人たちは僕の言葉を一生懸命聞いてくれて会話が続くようになりました。初めて行ったアメリカでの不安な気持ちが自信に変わりました。そしてニューヨークに行った時に見た自由の女神はアメリカが独立した記念に建てられたもので、右足を踏み出しているのは自由への一歩だと聞いてびっくりしました。アメリカは僕が思っていた以上に楽しいところでした。このアメリカでの経験をこれからの生活に生かしていきたいです。

2年2組 今泉 璃久
『サマーキャンプでの感想』



大楽さん(右端)

僕の今回のサマーキャンプの目標は、自分の知ってる英語がどこまで通じるか試すことでした。それはとても難しく、ホストファミリーと話している時、自分の考えを伝えたり、ホストファミリーの英語を聞いて内容を理解したりすることで、とても大きな言葉の壁を感じることがありました。「自分の知っている英語がどこまで通じるか」という目標は、とても1週間では達成することができませんでしたが、しかし自分の英語が完璧じゃなくてもジェスチャーなど相手に伝える方法はいくらでもあります。伝えるのは言葉がすべてじゃないことを学びました。またどんなことでも興味を持って取り組むことが大事だと学びました。

2年2組 大楽 竜
『サマーキャンプ』

2年2組 矢吹 丞
『サマーキャンプに行つて』



矢吹さん(左)

僕はサマーキャンプに行つて思ったことや感じたことがたくさんあります。その中でも印象に残ったことを書きたいと思います。

まず初めに言葉が通じなくても、頑張つて伝えようとするこの大切さです。僕はあまり英語が得意ではないので伝わらないことが何回もありました。でもジェスチャーなどで説明することができました。このことから伝えようとするのは大切だと思いました。

次にグレンロックの方々は優しいということ。優しい方々のいる町に行けて良かったし良い体験になりました。

最後に、この体験を将来に生かしていきたいと思いました。

2年2組 遠藤 渚央
『アメリカで学んだこと』



遠藤さん(左端)

私は、アメリカに行つて、ポジティブ思考、本場の英会話、生活文化を直接学ぶという3つの目的を持ちました。

グレンロックに滞在中は庭でのバーベキュー。老人ホームでお年寄りの皆さんと英会話などでコミュニケーションを取りながらのカードゲーム。ニューヨーク研修では、タイムズスクエアや自由の女神、グラウンドゼロなど映画の本場、映画文化に欠かせない名所を肌で感じ取れました。本場のハンバーガーやアイス、パンケーキなど日本では体験できないサイズ感も良い経験でした。

この短期間、直接的に数多くの体験をし、3つの目的は自分なりに達成できました。今後の人生にきつとプラスになります。

2年2組 先崎 琉雲
『アメリカで学んだこと』



先崎さん(右から2人目)

私は、この研修で日本にはないアメリカの文化をたくさん学ぶことができました。

アメリカの方々はとてもフレンドリーでした。歓迎会から送別会までの1週間、とても親しくさせていただくことができました。

そして、何といっても食文化と医学について詳しく学ぶことができました。日本とは異なった食べ物、食べ方などあらためてアメリカの食について知ることができました。また病院へ行つてアメリカの進んだ医学を学ぶことができました。

この7日間の研修は、私の将来につながる大きな一歩だったと感じました。ここで学んだことを生かして、これからも頑張っていきたいと思います。

2年2組 藤井 万佑子
『未来への翼』



藤井さん(左)

私は、この研修に参加して目標としたことを達成することができたと思います。

まず、人とのコミュニケーションについてです。英語が得意ではない私でしたが、どんな人とも笑顔で心をこめて交流することができました。

アメリカと日本の違いも、しっかりと見つけることができました。食事のマナーなど慣れない部分もありましたが、少しでもなじめるように頑張りました。

最後に、今後に生かせるとても良い研修にすることができました。外国の文化に直接触れ、将来の目標がより明確になりました。この研修に参加できたことに感謝し、また将来に必ずつなげたいと思います。

2年2組 宗像 涼葉
『サマーキャンプの反省』



宗像さん(右端)

私のアメリカでの1週間はとても充実していました。

私は、この研修に参加するにあたって2つの目標を持ちました。

1つ目の目標は、計画的に行動できるようにすることです。この目標は4日間の研修はもちろん、2日間のホストファミリーと過ごす日でも達成することができました。

2つ目の目標は、日本とアメリカの文化の違いを細かいところまで体験し、学ぶことです。

これは、移動する時や食事をする時などに達成することができました。

目標を2つ達成することと、町の人のあたたかさに触れることができた忘れられない貴重な1週間でした。

サマーキャンプ中学生の翼



佐藤さん(右から3人目)

2年3組 佐藤 唯夏
『サマーキャンプを経て』

この研修で私が得たものは多くあります。特に私が感じたことは、自立すること、積極性や協調性を大切にすることです。初めて両親から離れてアメリカという知らない地で1週間過ごすというのは、とても緊張し大変なことでした。その中で自立することとは決して簡単ではなかったけれど、積極的にホストファミリーやグレンロックの方と話したり、同じ団員と協力し合ったりして目的を果たすことができました。

今回学んだこと、グレンロックの方々との時間を忘れずにこれからの生活に生かしていきたいと思っています。

今回の研修は、私にとってかけがえのない夢のような思い出となりました。将来の夢に最大限生かせるよう努力したいと思います。

団長(教育課指導主事)
佐久間 敏晴

最初に、今年度の参加団員14人全員が元気に小野町に帰ってくるのができ、嬉しかったことを、報告させていただきます。

26回目を迎える「サマーキャンプ中学生の翼」事業は、以前小野町で英語指導助手をされていたクリスティンさんとその夫のステイブンさんが中心となり、アメリカ合衆国ニュージャージー州グレンロック町、さらには賛同する皆さんのご尽力により続けることができています。ホームステイを行いながら、消防署や警察署などの公共施設見学や老人福祉施設での入所者との交流活動、樹木園でのボランティア活動、さらには世界の中心都市であるニューヨーク市内見学をしてきました。

中学生という多感な時期にこのような体験をすることは、大変有意義なものであると思います。団員たちは、この研修を通して「チャレンジ精神」「コミュニケーション

ンをとろうとする態度」「自国や他国の文化を尊重する気持ち」「人間としてのつ

ながりや絆の大切さ」などができました。団員たちは、今後この学びを生かして、自己をさらに成長させるとともに、小野中の生徒や町の人々に言葉や行動で伝えていってほしい旨を話しました。

最後になりましたが、この14人の団員たちの中から、将来、国際的に活躍する人が出てくることを大いに期待しまして、研修の報告とさせていただきます。



佐久間団長(左から2人目)と西牧指導員(右端)

指導員(教育課副課長)
西牧 泰弘

平成4年度に始まった「サマーキャンプ中学生の翼」事業は今年で26回目を迎えました。開始当時アメリカとの通信手段は電話とファックスで、時差を考えながらの連絡でしたが、現在はインターネットとスマートフォンで瞬時に連絡が取れるようになりました。私が前回訪れた20年前とは、通信手段こそ変わりましたが、グレンロックの皆さんは昔と変わらない優しさとおたたかさで私たちを迎え入れてくださいました。本当に感謝しています。

これまで延べ408人の団員がグレンロックを訪れ、さまざまな体験をし、見識を深めてきました。今年の団員も言葉の壁文化の違い、生活習慣の違いにとまどいながらも努力し、ホストファミリーと心を通わせることができ、涙を流し別れを惜しんでいました。このことからこの1週間の成果をうかがい知ることができました。みんな大きな成果を上げ、経験が自信に変わったと思います。「言葉は違っても、心は通じる」という感想を聞き、引率した私自身も彼らに成長させてもらったと感じました。これからの経験を通じて団員の皆さんが活躍してくれることを願っています。

グレンロック町って どんなところ？

アメリカ合衆国ニュージャージー州グレンロック町は、町の面積が6.75km²(小野町の約18分の1)で人口は約11,000人の比較的小さな町です。

ニューヨーク市から35km離れた場所に位置するため、ニューヨーク市で仕事をする方々のペットタウン的存在となっています。

町は小さいですが自然あふれる落ち着いた住宅街です。

また町にはいくつかの公園や樹木園があり、アウトドアを楽しむ住民で活気に満ち溢れています。

町の中央には、氷河によって運ばれてきたという巨大な岩があり、町のシンボルとなっています。



小野中学校 柔道で東北・全国大会出場

柔道女子40kg級：吉田早希さん(3年)

吉田早希さん(小野中学校3年)は、7月24日に郡山西部第二体育館で行われた福島県大会柔道女子40kg級で優勝、続く東北中学校柔道大会では5位に入賞し、全国大会に出場しました。

8月19日に広島県立総合体育館で行われた全国中学校柔道大会の1回戦では、試合終了間際、得意の背負い投げで悲願の一勝を勝ち取りました。続く2回戦では、敗れはしましたが、本大会で優勝した選手を最後まで諦めずに攻め続けました。

2年連続で全国大会に出場した吉田さんの今後の活躍を期待します。



大会での様子(右)



(左から)大河原校長、吉田さん、町長、教育長



(右)

第41回福島県消防操法大会 小野町消防団

ポンプ車操法の部に出場

第41回福島県消防操法大会が8月26日、福島県消防学校屋外訓練場で開かれ、県内各地域を代表する消防団が訓練の成果を競いました。

この大会は、実際の火災現場を想定して、ポンプ車からホースをつないで放水し、火点(標的)を倒すまでのタイムや操法実施要領に基づく行動、動作全般など消防活動の基本となる規律と実践的な消防技術とチームワークを競い合います。

小野町消防団は、消防協会田村支部の代表として、日頃から積み重ねた厳しい訓練の成果を遺憾なく発揮し、ポンプ車操法の部で6位となりました。

消防操法大会参加にあたり、ご協力をいただいた関係機関および団体の皆さんに紙上より厚くお礼申し上げます。

【ポンプ車操法の部出場選手】 (敬称略)

	氏名	所属	行政区
指揮者	草野 遵	2分団4班	谷津作
1番員	新田 泰通	5分団5班	浮金
2番員	渡辺 隆朗	4分団3班	飯豊中
3番員	佐藤 拓也	6分団4班	湯沢
4番員	吉田 祐規	7分団4班	和名田
補助員	吉田 雅俊	1分団1班	本町
補欠員	草野 拓哉	7分団1班	塩庭一区



出場選手と応援の皆さん



真剣にポンプ車操法に取り組む選手の皆さん



おのまち夏まつり

小野町商工会主催のおのまち夏まつりが8月15日、小野新町小学校校庭で開かれました。

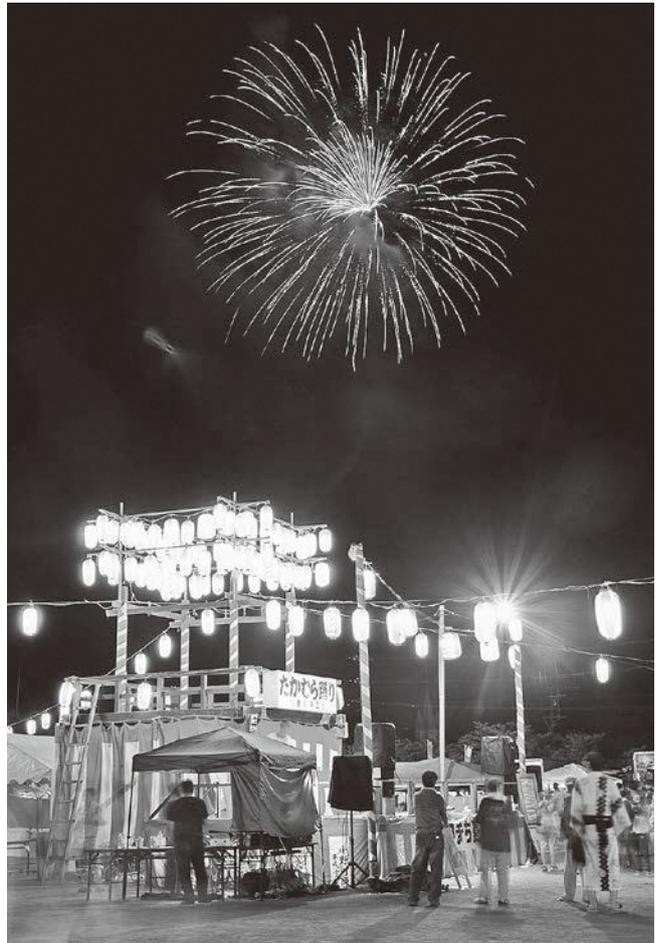
当日は町内外から約5,000人が来場しました。

午後2時30分から行われた子ども向けイベントのミニSL、フワフワ、輪投げ、ストラックアウトでは、暑さに負けず、子どもたちが楽しそうに遊んでいました。

またステージイベントが小野中学校吹奏楽部の演奏で幕開けし、小町レンジャーショー、夏井出身の中川よし子歌謡ショー、小町夢太鼓の演奏、小野町観光大使の小町雪乃歌謡ショーと続き、素晴らしい演奏・歌声に会場は大いに盛り上がりました。大御所芸人明石家さんまのものまねで知られるタレントの「ほいけんたのお笑い物まねショー」が、メインとして行われ会場は笑いの渦に包まれました。

夏まつり恒例のたかむら踊りでは、たかむら音頭保存会の皆さんの太鼓に合わせ、色とりどりの浴衣や法被を身にまとった踊り手の皆さんでいくつもの大きな輪ができ、一体感のある雰囲気の中で踊っていました。

夏まつりの最後には、約600発の花火が大空一面に打ち上げられ、平成最後の夏の夜空を彩りました。



花火大会



ストラックアウト



オープニングセレモニー



ほいけんたのお笑い物まねショー



たかむら踊り

小野町老人クラブ連合会が知事感謝状を受賞

第32回福島県高齢者福祉大会が8月8日、二本松市民会館で開かれ、小野町老人クラブ連合会が優良老人クラブとして知事感謝状を受賞しました。

また地域高齢者福祉活動功労者として、前小野町老人クラブ事務局長の吉田隆さんが県老人クラブ連合会長表彰を受賞しました。

今大会での栄誉ある受賞、誠にありがとうございます。今後とも小野町の福祉向上や社会奉仕活動にご尽力いただきますようお願いいたします。



受賞された老人クラブの皆さん

第33回B&Gスポーツ大会福島県大会出場

～日頃の練習の成果を発揮しました～

第33回B & Gスポーツ大会福島県大会が7月29日、田村市滝根 B & G 海洋センターおよび滝根体育館で開かれました。

小野町 B & G 海洋センター代表として、小野町水泳スポーツ少年団と小野町剣道スポーツ少年団がそれぞれ出場し、剣道の部で優勝、水泳の部では3位入賞を果たしました。また試合を通して選手間の交流も深まり、有意義な大会となりました。



剣道スポーツ少年団の皆さん



水泳スポーツ少年団の皆さん

平成30年度親子水泳教室を開催

～5日間一生懸命泳ぎました～

親子水泳教室が7月30日から8月3日までの5日間、B & G 海洋センタープールで開かれました。

教室では、9組の親子18人が参加し、親子練習の後、親と子どもに分かれて、それぞれ水泳の基礎を学びました。子どもたちは、水に顔をつけることや潜ることから練習を始め、次第にビート板キックやクロールの練習を中心に行い、全員が熱心に取り組んでいました。

最終日には、それぞれ5日間の練習の成果を披露しました。

今回の教室で、親子のふれあいだけでなく、より一層水に親しみかけになりました。



親子水泳教室の様子

小野町社会福祉協議会では平成30年7月豪雨災害義援金の受付を行っています

小野町社会福祉協議会は反町老人クラブ亀鶴会、小野中学校ボランティア委員会および先生方から、平成30年7月豪雨災害義援金をお預かりしました。今回の義援金は、日本赤十字社福島県支部を通じて被災地へ届けられます。



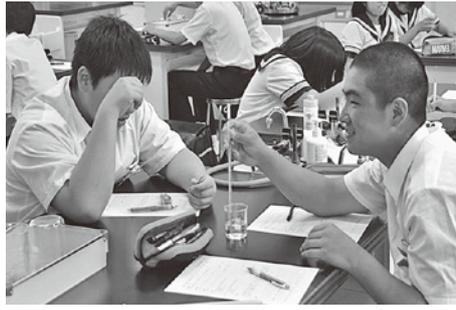
小野中学校ボランティア委員会の皆さん

中学生体験入学

平成30年度中学生体験入学を7月26日に実施しました。中学生と保護者および引率者を合わせて151人の皆さんにご参加いただきました。

全体会で学校紹介を行った後は、各グループに分かれて体験授業を行いました。体験授業では、さまざまな進路希望に対応できる総合学科という本校の特色を生かした各系列(文理総合・ビジネス・産業技術・福祉教養)の授業を体験しました。その後には部活動見学会も行い、本校生の活動の様子も見ていただきました。

参加者の皆さん、ありがとうございました。
進路決定の参考にお役立てください。



第8回全国高校生 そば打ち選手権大会

第8回全国高校生そば打ち選手権大会が8月20日、東京都立産業貿易センター台東館で開かれ、本校3年課題研究そば打ち専攻班の鈴木榊那恵さん、伊藤義郎さん、三本松裕次さん、郡司慈英さんが出場しました。この大会は4人1組で「水回し」「ねり」「のし」「切り」「片付け」の全工程を交代しながら行い、40分以内にそばを完成させるというものです。

出場した4人がそば打ちを始めたのは今年の4月からでした。小野町の大千里廣子さんにそば打ちの指導を受け、この3カ月間全国大会に向けて技術を磨いてきました。当日は普段練習で使うそば粉との性状の違いに苦戦しながらも、制限時間内にそばを完成させることができました。残念ながら入賞はできませんでしたが、全国各地から集まった高校生と技術を競い合い、そば打ちの奥深さと楽しさを感じられる大会となりました。



君の夢をカタチに！！
福島県立小野高等学校

福島県田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後63
TEL 0247-72-3171 FAX 0247-72-6211
<http://www.ono-h.fks.ed.jp>

公立小野町地方総合病院からのお知らせ

今回は、内科非常勤医師、藤田雄也(ふじたゆうや)医師から「関節リウマチについて」お知らせします。関節リウマチと聞いてイメージがわからない人も多いと思います。

関節リウマチは人口の0.5%、30歳以上では1%の方がかかる病気です。100人知り合いがいれば、1人は関節リウマチとなるため、比較的頻度の高い疾患といえるでしょう。「節々の関節が痛い」「朝こわばる」などの症状で発症するので、けんしゅうまひ腱鞘炎などと勘違いされることもあります。このような症状で、原因がわからず困っている方はぜひ一度病院を受診してください。放っておくと指が変形したり、関節が痛くて日常生活に支障をきたしたりする恐ろしい病気です。しかし、ここ数十年の間にたくさんの薬剤が出てきて、一昔前に比べると治療がよく効く患者さんも増えてきました。また診断から治療開始までが早ければ早いほど治療の効果が得られやすいことがわかっています。関節リウマチに限らずどんな病気でも早期診断・早期治療が大事です。体調が優れない場合には医療機関を早めに受診しましょう。



藤田雄也医師の診療日、受付時間については当院までお問い合わせください。
公立小野町地方総合病院
総務課 ☎72-3181

～夜間救急外来診療のお知らせ～

平日の夜間救急外来診療を行っています。受診の前に電話(72-3181)にて症状をお伝えください。
受付時間：平日 午後5時から午後8時30分まで

乳がん検診のご案内～40歳以上の方は2年に1回は検診を～

町では、40歳以上の女性を対象に乳がん集団検診を下記のとおり実施しますので、受診を希望される方は健康福祉課までお申し込みください。

○乳がん集団検診(予約制)

日 程：10月10日(※)、11月13日(※)

11月22日(※)、12月1日(±)

会 場：多目的研修集会施設

対象者：40歳以上の女性

受 付：午前9時から午前10時まで

午後1時から午後2時まで

検診料：1,000円

注 意：次の方は検査ができませんのでご注意ください。

- ①ペースメーカー、シャントチューブ、ポートのある方
- ②豊胸手術をされている方
- ③授乳中や断乳直後の方
- ④妊娠の可能性のある方

お申し込み方法：9月21日(金)までに健康福祉課へ電話でお申し込みください。受診できる人数に限りがあるため予約制となっています。

また施設検診を平成31年1月31日まで実施していますので、ご都合に合わせて受診ください。

<乳がん施設検診指定医療機関>

公立小野町地方総合病院	72-3181
三春町立三春病院	62-3131
坪井病院	024-946-0808
総合南東北病院	024-934-5322
星総合病院	024-983-5511

☎健康福祉課 72-6934

■休日当番医

月	日	当番医	電話番号
9	16(日)	かみや内科クリニック(小野町)	72-3212
	17(月)	大方病院(田村市船引町)	82-1117
	23(日)	のざわ内科クリニック(三春町)	61-1500
	24(月)	大久保クリニック(田村市船引町)	82-2555
	30(日)	公立小野町地方総合病院(小野町)	72-3181
10	7(日)	かとうの内科クリニック(田村市船引町)	81-1388
	8(月)	春山医院(三春町)	62-3239
	14(日)	さとう耳鼻咽喉科クリニック(田村市船引町)	81-1333

◆夜間診療所および休日当番医で受診する場合は必ず事前に電話確認のうえ受診してください。

◆詳しくは「ふくしま医療情報ネット」の「休日当番医をさがす」をご覧ください。

<http://www.ftmis.pref.fukushima.lg.jp/>

◆子ども救急電話相談

受付時間：午後7時から翌朝午前8時まで(年中無休)

☎024-521-3790(一般ダイヤル回線)、

#8000(短縮ダイヤル)

■田村地方夜間診療所の当番医

田村地方夜間診療所では、田村地方の医療機関が交替で診療しています。当番医については下表のとおりです。
【9月】

日	月	火	水	木	金	土
16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日
		白岩医院	大久保クリニック	石川医院	かとうの内科 クリニック	
23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日
		中央通りクリニック やない	清水医院	遠藤医院	南東北 滝根診療所	
30日						

【10月】

日	月	火	水	木	金	土
	1日	2日	3日	4日	5日	6日
	都路診療所	船引クリニック	青山医院	春山医院	まつざき内科 胃腸科クリニック	
7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
		さいとう医院	大方病院	矢吹医院	石塚医院	
14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
	のざわ内科 クリニック	橋本医院	秋元医院	雷クリニック	せんざき医院	

◆診療内容：内科、小児科疾患の一次救急です。 ◆受付時間：午後7時から午後9時30分まで

●田村地方夜間診療所（田村市船引町船引字源次郎 68-2（福祉の森公園地内）） ☎ 81-2233

■健康づくり

月	日	行事	時間	場所
9	20	精神保健デイケア	予約制 10:00~14:00	多目的研修 集会施設
		夜間ヘルスアップ運動教室	19:00~20:30	町民体育館
	21	ヘルスアップ運動教室	13:00~15:30	多目的研修 集会施設
	22	土曜フィットネス教室	14:00~15:30	町民体育館
	27	夜間ヘルスアップ運動教室	19:00~20:30	
	28	ヘルスアップ運動教室	13:00~15:30	多目的研修 集会施設
	29	土曜フィットネス教室	14:00~15:30	町民体育館
10	2	健康栄養教室	予約制 9:45~13:30	勤労青少年 ホーム
	4	夜間ヘルスアップ運動教室	19:00~20:30	町民体育館
	5	ヘルスアップ運動教室	13:00~15:30	多目的研修 集会施設
	6	土曜フィットネス教室	14:00~15:30	町民体育館
	11	夜間ヘルスアップ運動教室	19:00~20:30	町民体育館
	12	ヘルスアップ運動教室	13:00~15:30	多目的研修 集会施設
	13	土曜フィットネス教室	14:00~15:30	町民体育館

■親子の教室

月	日	行事	時間	場所
9	19	おやこ食育教室	予約制 10:00~10:15	子育て支援課 キッズルーム
	27	親子ふれあい教室	受付 10:00~10:15	
10	4	親子ふれあい教室 (ベビーマッサージ教室)	受付 10:00~10:30	多目的研修 集会施設
	9	幼児のわくわくタイム	予約制 10:00~10:15	子育て支援課 キッズルーム
	12	すくすく発達教室	受付 10:00~10:15	
	15	ママのリフレッシュ教室	受付 10:00~10:15	

■乳幼児健診

月	日	行事	時間	場所
9	26	3~4カ月児・ 9~10カ月児健診	受付 13:00~13:15	子育て支援課 キッズルーム
10	5	3歳児健診		

■その他

月	日	行事	時間	場所
10	10	乳がん検診	予約制 9:00~10:00 13:00~14:00	多目的研修 集会施設

「こまちダムまつり2018」開催！

「こまちダムまつり2018」が7月28日、こまちダムで開かれ、町内外から約400人が来場しました。

まつりは小町夢太鼓による和太鼓の演奏で始まり、来場者はスタンプラリーなどさまざまなイベントを楽しみました。

メイン会場では、こまちダム踊りの披露や地元行政区の皆さんなどによる焼きそば・地元特産物・ヤマメの塩焼き・焼きとりなどが販売されました。

こまち湖では、巡視艇「こまち号」での巡視体験やアクアボール体験、小野海洋クラブによるカヌー体験が行われ、湖上からの眺めを楽しんでいました。

また新たなイベントとして登場した高所作業車体験では、地上16mの高さから、こまちダムの景色を眺めてもらいました。

開催にあたり、ご協力をいただいた皆さんに紙上より厚くお礼申し上げます。



こまちダムまつり開会式



小町夢太鼓の皆さんと小桜ちゃん



アクアボール体験



巡視船「こまち号」



カヌー体験



高所作業車体験



ダム施設見学

ふれあい通信



郡司 保進 ●吉野辺出身
●東京支部

今と昔

生まれ育った小野町吉野辺を離れて、もう50年以上がたちました。

父母も亡くなり、だんだんと故郷から足が遠のくような気がします。

先日、若い人たちと交流する機会があり、またその子どもたちも来てくれて、高柴山や東堂山、日影山など、遠足の話やいろいろな思い出話をしてくれました。

そんな話の中でびっくりしたことがありました。今は子どもが少ないため、通学の時などは親御さんたちが学校まで車で送迎しているということです。

今の子どもたちは、昔に比べて体力がないように思うと親御さんたちが言っていました。昔は小学校や中学校の通学路は、山道と砂利道でした。

今懐かしく思うのは、小中学生の頃、友達と一緒に道草をして遊んだ楽しい思い出です。春・夏には山イチゴや桑の実など、秋には栗やアケビを採ったり、懐かしく楽しい思い出です。今の子どもたちは、そんな豊かな自然と触れ合う体験ができずかわいそうな気がします。昔は、子どもが多かったからかもしれません。

今私は、会社を定年退職して、家の庭先で野菜を作ったり、花などを育てて余生をのんびりと楽しんでいます。

今年は、桜やツツジも大変早く咲いたそうです。小野町は高柴山のツツジ、夏井の千本桜や矢大臣のアズマ菊など「阿武隈高原中部県立公園」に囲まれた緑豊かなわが故郷です。自然豊かな小野町を誇りに思います。時々には帰るようにしたいです。

何時までも変わらぬ小野町吉野辺は最高ですね。わが故郷でよかった！

地球温暖化防止活動推進員養成研修会

福島県では地球温暖化の現状や影響、対策などについて学習した上で、地域の人たちとともに理解を深める活動を積極的に行う「うつくしま地球温暖化防止活動推進員」を養成する研修会を開きます。

対象 地球温暖化防止活動に関心があり、地球温暖化防止活動推進員の委嘱を受けたい方

日時 10月26日(金) 午後1時30分から午後3時30分まで(開場 午後1時)

場所 郡山市中央公民館 第1講義室 (郡山市麓山1-8-4)

研修概要 地球温暖化の現状と対策、地球温暖化防止推進員の活動事例 など

申し込み締め切り 10月12日(金)まで

受講料 無料

定員 30人(先着順)

申し込み・問い合わせ先

福島県地球温暖化防止活動推進センター(特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク)

〒963-8835 郡山市小原田2-19-19 ☎024-944-0083 FAX 024-953-6093

E-メール uketsuke@fukushima-ondankaboushi.org ※FAX、郵便、Eメールにてお申し込みください。



ご寄附ありがとうございます

小野小町ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)の寄附状況

「小野小町ふるさと応援寄附金」にご協力いただき、誠にありがとうございます。

広報紙への掲載をご承諾いただいた方(6月分)をご紹介します。

【小野町の美しい里山風景を残すため】

お名前	住所
田子森 美洋子さん	千葉県船橋市

今年度寄附の申し込みがあった方は7月31日現在で79人、合計1,090,000円です。

企画政策課 ☎72-6939



地域おこし協力隊活動記

台風と猛暑！

皆さんお久しぶりです。地域おこし協力隊の菅原です。

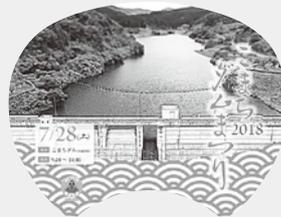
7月から8月は猛烈な暑さが続き、外出が億劫になりました。いかに東北といえど、さすがに暑いですね。

暑さもさることながら、台風も猛威をふるっていました。7月末に行われた「こまちダムまつり」では写真・動画撮影のほか、ドローンでの撮影も決行したのですが、断続的な風雨に襲われながらも何とか飛ばすことができました。防水機能がないので、やはり天候には注意したいですね。

8月の活動では「第2期ふくしまクリエイティブクラフトアカデミー」に参加しました。世界的に有名なデザイナーのコシノジュンコさんが校

長となるアカデミーですが、去年に引き続き2度目の参加です。昨年度のアカデミーでは県内のものづくりに関わる方々と知り合うことができ、多種多様なデザインの考え方を教わることができました。

今年度も期待したいです。



こまちダムまつりの
うちわとポスター



国民年金コーナー

～生活を支える人が亡くなったとき遺族基礎年金が支給されます～

国民年金では65歳から老齢基礎年金が支給されますが、不慮の事故などで生活を支える方が亡くなった場合には「遺族基礎年金」が支給され、国民の暮らしを守ってくれます。

○支給対象者

亡くなった方に生計を維持されていた「子のある配偶者」または「子」に支給されます。

※遺族年金という子とは、①18歳到達年度末(3月31日)までの子、②20歳未満で障害年金の障害等級1級または2級の子です。

○受給要件

- ・老齢基礎年金を受給していた方が亡くなったとき
- ・被保険者または老齢基礎年金の受給資格期間を満たした方が亡くなったとき[保険料納付済期間(保険料免除期間を含む)が保険料を納付しなければならない期間のうち3分の2以上あること]。
- ・死亡日に65歳未満で、死亡日のある月の前々月までの1年間に未納がないとき(平成38年3月までに死亡日がある場合)。

○年金額と子の加算額

遺族基礎年金は779,300円に子の加算額を加えた額が支給されます。子の加算額は1人につき224,300円(2人目まで)、3人目以降は1人につき74,800円となります。

※子が受給する場合の加算額は2人目以降に子の加算が行われ、前記の加算額を子の人数で除した額となります。

○厚生年金の加入者

遺族基礎年金は厚生年金の加入者にも支給されます。受給要件などがありますので、詳細はお近くの年金事務所にお問い合わせください。

問 郡山年金事務所 ☎024-932-3434

問 町民生活課 ☎72-6933

平成31年度採用 小野町職員募集(再募集) 募集期間 9月28日(金)まで



○目的

小野町職員(保健師)採用候補者試験(再募集)を次により行います。

◇試験職種および採用予定人員 保健師 1人程度

◇受験資格

昭和58年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた方で、保健師の資格を有する方、または平成31年3月までに実施される同国家試験により、免許取得見込みの方

◇試験の期日・場所 10月12日(金) 小野町役場

◇試験の方法 小論文・面接

◇受験手続きおよび受付期間

(1)必要書類

- ①申込書 1通(所定様式)
- ②履歴書・身上書 1通(所定様式)
- ③戸籍謄本および住民票謄本 各1通
- ④最終学歴の学業成績証明書 1通
- ⑤健康診断書 1通(所定様式)

※所定の診断書様式の内容を網羅している診断書であれば、受診医療機関の様式でも可とします。
なお血液検査などに時間を要する医療機関(外部への検査委託)もありますので、早めの受診をお願いします。

(2)申込書などの請求

申込書、その他必要書類の様式は役場で交付するほか、ウェブサイトからもダウンロードできます。郵送での請求の場合は120円切手を貼った自分宛ての返信用封筒(角形2号)を同封してください。

(3)募集期間 9月28日(金)まで(郵送による申込用紙提出は9月26日(水)までの消印のあるものが有効)

☎総務課 ☎72-2111 ウェブサイト：<http://www.town.ono.fukushima.jp>



自慢の農作物を出品しませんか～平成30年度農作物品評会～

毎年、小町ふれあいフェスタと同時に行っている農作物品評会を、今年度も行います。

品質の良い食料を安定的に、かつ効率的に供給できる能率の高い農業が要求されている現在、農作物品評会を実施することで、生産者の意識高揚と町内産の農作物の素晴らしさを広く知ってもらい、消費拡大につなげることを目的として実施します。

昨年度は100点の出品があり、それぞれに大変優秀なものばかりで、展示会場には多くの方に参観いただきました。

今年度も自慢の農作物を出品して、会場を彩ってみませんか。

後日、チラシの配布を行いますので、出品に関しての詳細をご確認いただき、積極的なご参加をお待ちしています。



昨年の会場の様子

ふくしまの未来へ 大切な1票を

福島県知事選挙および福島県 議会議員補欠選挙のお知らせ

任期満了(11月11日)に伴う福島県知事選挙と、それと同日に執行される福島県議会議員補欠選挙の日程が次のとおり決定しました。

今後の「ふくしま」を決める大切な選挙となりますので、棄権しないで投票しましょう。

○告示日

・福島県知事選挙

10月11日(木)

・福島県議会議員補欠選挙

10月19日(金)

○投票日

10月28日(日)

○投票時間

午前7時から午後7時まで

※投票場所は、10月上旬頃送付予定の入場券をご確認ください。

○期日前投票

投票の当日、やむを得ない事由のため投票できない方には、期日前投票制度(不在者投票制度)がありますので、下表により投票を行ってください。

<期日前投票について>

	福島県知事選挙	福島県議会議員補欠選挙
期 間	10月12日(金)から27日(土)まで	10月20日(土)から27日(土)まで
時 間	午前8時30分から午後8時まで	
場 所	小野町役場分庁舎 (旧母子健康センター)	
注意点	福島県知事選挙と福島県議会議員補欠選挙の期日前投票・不在者投票開始時期が異なるため、10月20日(土)以降でない、両方の投票を一度に行えませんので注意してください。	

④小野町選挙管理委員会事務局(総務課内)

☎72-2111

FAX 72-3121



お知らせ information

お知らせ

国民健康保険被保険証の更新について

現在交付している「国民健康保険被保険者証(保険証)」は、有効期限が9月30日までとなっております。新しい保険証は、9月末ま

でに各世帯に簡易書留で郵送します。10月1日以降に診療を受ける際は、新しい保険証を医療機関に提示してください。有効期限が切れた保険証は、10月1日以降に町民生活課まで返却してください。

保険証は、国民健康保険に加入していることを証明する大切なものです。汚したり、紛失したりしないようにしましょう。

勤務先の健康保険に加入したり、退職などで健康保険を脱退したりした場合は、町民生活課で手続きが必要です。

☎町民生活課
72-16933

平成30年度こおりやま障がい者就職面接会

仕事をお探しの障がい者の皆さんと、企業の採用担当者が一同に会し、お互いに理解を深めながら面接できる機会です。仕事を探している障がい者の皆さん、就職面接会に参加してみませんか。

就職面接会に参加される方は、事前にハローワークへ求職登録、参加申し込みが必要です。

○日時

10月15日(日)
午後1時30分から午後4時まで

○会場
ビッグパレットふくしま

多目的展示ホールA (郡山市南2-52)

○対象者

障がい者、障がい者採用を検討している企業

○参加企業 約40社

○主催

ハローワーク郡山、福島労働局

○共催

郡山市、田村市、三春町、小野町

○申し込み・問い合わせ先

ハローワーク郡山
郡山市方八町2-1-26
☎024-942-8609
部門コード44#
FAX024-941-2363

「法の日」 司法書士無料法律相談

10月1日は「法の日」です。福島県司法書士会では、法の日を記念し、県民に対する法的サービス事業の一環として、9月29日(土)から10月6日(土)までの間に県内11会場において、無料法律相談を行います。

相談内容は、不動産の相続・売買などの登記に関すること、多重債務問題、成年後見、そのほか裁判手続きに関することなどを中心に、県民の皆さんの日常生活に関連するさまざまな法律相談もお受けします。また東日

本大震災や原子力発電所事故による被災・被害についての相談も応じますので、お気軽に相談会場に足を運んでください。

相談会の日時・場所などの詳細についてはお問い合わせください。

☎ 福島県司法書士会
024-53417502

「労働困りごと相談会」および「夜間労働相談会」開催

賃金未払い、解雇、退職、パワハラなどの労使間のトラブルに関する困りごとや疑問についての相談をお受けします。

相談は無料で秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

【労働困りごと相談会】10月21日(日)開催
○現地相談会
(午前10時から午後4時まで)

・白河市産業プラザ人材育成センター(白河市中田140番地)

・県いわき入居庁舎(いわき市平字梅本15番地)

※労働問題に精通している労働委員会委員が対応します。

※原則として事前予約制です。

○電話相談
(午前10時から午後7時まで)

【夜間労働相談会】10月30日(日)開催

○来所による相談
(午後5時15分から午後7時まで)

福島県労働委員会事務局
(福島市中町8-2 県自治会館4階)

○電話相談
(午後5時15分から午後7時まで)

※日中(午前8時30分から午後5時15分まで)にも労働相談を受け付けていますが、当日は午後

7時まで

7時まで時間を延長して労働相談をお受けします。

☎ 福島県労働委員会事務局
福島市中町8-2

024-52117594
Eメール:roundousudan@pref.fukushima.jp

県民健康調査の一環として実施されます

「妊産婦に関する調査」の依頼について

「妊産婦に関する調査」は、県立医科大学が県の委託を受け、県民健康調査の一環として平成23年度から行っています。妊

産婦の方々のこころや身体の状態を把握し、不安の軽減や必要なケアを提供するとともに今後の県内の産科・周産期医療の充実へつなげていくことを目的としています。

対象者には通知しますので、調査へのご協力をお願いいたします。

○通知時期 11月予定
○対象者
平成29年8月から平成30年7月末までに県内の市町村から母子健康手帳を交付された方など

町の母子健康手帳の交付資料に基づいて調査票をお送りします。不明な点はお問い合わせ

してください。

せくください。

☎ 福島県立医科大学
放射線医学県民健康センター(妊産婦専用ダイヤル)
024-544915180
平日午前9時から午後5時まで



募 集

平成30年度福島県赤ちゃんおでかけ応援事業補助金の募集について

県では、赤ちゃんを連れた方でも安心して楽しくお出掛けができるよう、事業者がおむつ替えのスペースを整備するための物品購入費用に対し、補助を行います。補助対象経費や補助額、申請方法、応募期限などについては、お問い合わせください。

☎ 福島県子育て支援課
024-52118205
Eメール:kosodate@pref.fukushima.jp

秋の全国交通安全運動を実施します！

○目的

秋になると、日没の時間が早くなるため、例年、夕暮れ時や夜間には、重大事故につながるおそれのある交通事故が全国的に多発します。

このような状況を改善するため、交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることによって、交通事故防止の徹底を図ることを目的とします。

○期間

9月21日(金)から9月30日(日)まで

○運動のスローガン

「暗い道 私のお守り 反射材」

○運動の重点

- ①子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- ②夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ③すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ④飲酒運転の根絶

点検・整備で始めよう安心クルマ生活
あなたと家族の笑顔を守る点検・整備
～安全確保と環境保全には、クルマの点検整備が必要です～

自動車点検整備推進運動

重点実施期間 9月から10月まで

- ☎ 国土交通省東北運輸局福島運輸支局
024-546-0342
- ☎ 福島県自動車適正使用推進協議会事務局
024-546-3451



健康な体は食事から ～糖尿病を予防しましょう～

糖尿病とは食べ過ぎ、運動不足などよくない生活習慣により、血糖値を下げるインスリンの分泌が不足したり、働きが低下することによって血液に含まれる糖分(血糖)が多くなる病気をいいます。

糖尿病は腎臓や目の合併症だけではなく、脳卒中、認知症、心臓病など要介護の原因となる疾患のリスクにもなります。

自覚症状はほとんどなく、症状が現れた時には進行している場合が多いため、重症化する前に生活習慣を見直すことが大切です。

《食べ方の工夫》

- ①主食、主菜、副菜を組み合わせる1日3食規則正しく摂取しましょう。
- ②食後血糖値の上昇を抑える野菜・海藻類などを始めに食べ、血糖値を上げる炭水化物(ご飯、パン、麺)は最後の方に食べましょう。
- ③よく噛んで食べることで満腹感が得られやすくなり、食べ過ぎ防止になります。腹八分目を心掛きましょう。
- ④遅い時間の食事や夜食はエネルギーの消費が少なく、体脂肪が溜まりやすくなります。食事が遅くなる場合には、野菜を中心に低エネルギー、低脂肪のおかずにししましょう。

今回は、生活習慣病予防 ～糖尿病予防メニュー～です。

すべて食物繊維の多い食品を使用したメニューで、食物繊維の1日摂取目標量の2/3の量をこの1食で摂取することができます。

食物繊維は水溶性と不溶性のものがあり、どちらもバランス良く取ることが大切です。「麦ご飯」の押し麦は、白米と比べカロリーが低く、水溶性と不溶性の食物繊維がバランス良く含まれており、便通を良くする効果やコレステロールの上昇を抑え、白米に比べて血糖値の上昇が緩やかなのも特徴です。

「とろろ昆布とトマトの味噌汁」は、とろろ昆布のうまみとトマトの酸味がマッチして薄味でもおいしくいただけます。

「鶏肉とキノコのピリ辛炒め」は食物繊維が豊富なキクラゲやシイタケ、低カロリーで栄養も豊富な鶏胸肉を使用したピリ辛の一品です。

「ひじき入り五目おから煮」は通常であれば砂糖や醤油などの調味料を多く使用しますが、今回はめんつゆを使用したことでカロリーと塩分を抑えています。

「切り干し大根とミックスビーンズのサラダ」はヨーグルトで作るドレッシングがさっぱりとした味わいで、切り干し大根とお豆、キュウリとの相性がとても良いです。

「ほうじ茶寒天 黒みつきなこがけ」はほうじ茶の香ばしさと黒みつ、きなこの甘さがマッチしており、甘さ控えめで低カロリーなため、食後のデザートとして最適です。

ぜひ一度ご家庭でお試ください。

※この献立は、成人女性の1食当たりの栄養量を目安に作成しています。

《今月のメニュー》

- ・麦ご飯
- ・とろろ昆布とトマトの味噌汁
- ・鶏肉とキノコのピリ辛炒め
- ・ひじき入り五目おから煮
- ・切り干し大根とミックスビーンズのサラダ
- ・ほうじ茶寒天 黒みつきなこがけ

《栄養素》

エネルギー： 604kcal
たんぱく質： 22.3g
脂質： 17.7g
炭水化物： 88.8g
食塩相当量： 1.6g

★糖尿病予防メニュー★

☆とろろ昆布とトマトの味噌汁☆

◎材料(4人分)

- ・とろろ昆布 8g
- ・トマト 80g
- ・だし汁 600ml
- ・味噌 24g

◎作り方

- ①トマトはひと口大に切る。
- ②鍋にだし汁を煮立て、弱火にして味噌を溶き入れる。
- ③とろろ昆布、トマトを入れてさっと煮る。

◎栄養価(1人分)

エネルギー	タンパク質	脂質	炭水化物	食塩相当量
24kcal	1.7g	0.4g	4.4g	0.7g



☆鶏肉とキノコのピリ辛炒め☆

◎材料（4人分）

- ・鶏むね肉(皮なし) 140g
- ・卵 60g
- ・シイタケ 80g
- ・キクラゲ(乾) 12g
- ・水菜 80g
- ・ごま油 大さじ1・1/3
- ・ニンニク 2g
- ・唐辛子 0.8g

①

- ・オイスターソース 小さじ1
- ・コチュジャン 小さじ1
- ・酒 小さじ1・1/2
- ・鶏ガラだし 小さじ1・1/3
- ・塩 0.4g
- ・こしょう 0.4g

◎作り方

- ①キクラゲをさっと水洗いして、水で10～15分戻したら食べやすい大きさに切る。
- ②鶏肉はひと口大のそぎ切りに、シイタケは石づきを切り、3等分のそぎ切りにする。水菜は3等分、ニンニクはみじん切り、唐辛子は輪切りにする。
- ③フライパンにごま油半量を熱し、溶き卵を流し入れ大きくかき混ぜて半熟状になったら取り出す。
- ④フライパンに残りのごま油とニンニク、唐辛子を入れ、香りが出てきたら、鶏肉を加え炒める。鶏肉に火が通ったら、取り出しておく。
- ⑤フライパンにシイタケ、キクラゲを加え炒めたら、水菜を加えさっと炒める。
- ⑥①を入れ、味を整えたら鶏肉、卵をフライパンに戻し、軽く炒め合わせる。



◎栄養価(1人分)

エネルギー	タンパク質	脂質	炭水化物	食塩相当量
127kcal	11.0g	7.4g	5.1g	0.6g

☆ひじき入り五目おから煮☆

◎材料（4人分）

- ・おから 160g
- ・コーン 20g
- ・ひじき(乾) 4g
- ・しらたき 40g
- ・ちくわ 20g
- ・ネギ 20g
- ・サラダ油 大さじ1・1/3
- ・めんつゆ 大さじ1・1/3
- ・酒 大さじ1
- ・水 大さじ1・1/3

◎作り方

- ①ひじきを水で10～15分戻す。戻ったら、ザルに上げ水気を切っておく。
- ②鍋にお湯を張り、しらたきを湯通しする。湯通し後、ザルに上げ水気を切ったら長さ3～4cmの長さに切る。
- ③ちくわは輪切りにし、ネギは斜め切りにする。
- ④鍋にサラダ油を熱し、ひじき、しらたきを加えて水気が飛ぶまで炒める。そこにコーン、ちくわ、ネギを加え軽く炒めたら、おからを加え、めんつゆ、酒、水を加えておからがしっとりとするまで炒め煮る。



◎栄養価(1人分)

エネルギー	タンパク質	脂質	炭水化物	食塩相当量
104kcal	3.3g	5.6g	9.6g	0.2g

☆切り干し大根とミックスビーンズのサラダ☆

◎材料（4人分）

- ・切り干し大根(乾) 12g
- ・ミックスビーンズ 80g
- ・キュウリ 40g

①(ドレッシング)

- ・ヨーグルト 大さじ1・1/3
- ・マヨネーズ 大さじ1・1/3
- ・練りマスタード 小さじ1
- ・砂糖 小さじ1/2
- ・白こしょう 0.4g

◎作り方

- ①切り干し大根を水で15分戻す。戻ったら水気を切り、長さ2～3cmに切る。
- ②キュウリは斜めに薄切りにし、何枚か重ねて千切りにする。
- ③ボウルに、①を加えドレッシングを作る。
- ④そこに切り干し大根、ミックスビーンズ、キュウリを加えて混ぜ合わせる。

◎栄養価(1人分)

エネルギー	タンパク質	脂質	炭水化物	食塩相当量
77kcal	2.0g	3.5g	9.3g	0.1g



☆ほうじ茶寒天 黒みつきなごがけ☆

◎材料（4人分）

- ・ほうじ茶 2カップ
- ・粉寒天 4g
- ・黒みつ 小さじ2
- ・きなこ 小さじ2

◎作り方

- ①鍋にほうじ茶と粉寒天を入れ、よくかき混ぜながら煮溶かす。沸騰したら弱火にし5分加熱する。
- ②パットの内側を水でぬらし、①を流し入れる。
- ③あら熱が取れたら、冷蔵庫でよく冷やし固める。
- ④2cm角に切り、器に盛ったら黒みつときなこをふりかける。

◎栄養価(1人分)

エネルギー	タンパク質	脂質	炭水化物	食塩相当量
12kcal	0.4g	0.3g	2.7g	0.0g



☆☆☆飯豊ひまわり保育園☆☆☆

祖父母とのつどい

～おじいちゃん、おばあちゃんありがとう～

飯豊ひまわり保育園では、毎年「祖父母とのつどい」という行事を行っています。今年は7月20日に行われ、たくさんのおじいちゃんやおばあちゃんに来ていただきました。お手玉やメンコ、コマ回しに折り紙など、昔ながらの遊びを一緒に楽しみました。

そういった遊びに触れる機会が少ない現代…。「これどうやってやるの?」「おじいちゃんすごいね。ぼくにもかして」と興味津々で遊ぶ姿が見られました。コマ回しやメンコには、やはりコツがいるようで、諦めずに何度も何度も挑戦する子どもたちの姿が見られました。初めてできると「できた!!もう1回やるから見てね」という声が聞かれました。おじいちゃんやおばあちゃんも幼少期に帰ったように、子どもたちと一緒に楽しんでいました。10月には、第2回目の祖父母とのつどいを予定していますが、次回は遊んだ後、一緒に食事を楽しみます。

現在は、核家族が多くなっていますが、保育園ならではの行事や遊びを通して祖父母や地域の方々との交流を図り、心豊かに成長してほしいと願っています。



交流自治体イベント情報(10月)

自治体	イベントなど
柳津町	第7回会津やないづ赤べこまつり(10/6)
埴町	はなわのダリア祭(10/31まで)
広野町	第24回ひろの童謡まつり(10/13)
埼玉県戸田市	戸田市商工祭(10/27・28)
茨城県日立市	ひたち秋祭り 郷土芸能大祭(10/7)

- ・このコーナーでは、町民の皆さんに町が事業の連携や災害時の相互応援などで交流を継続的に行っている自治体(田村市、三春町を除く)を身近に感じていただくため、主なイベント情報などを掲載しています。詳しくは、各自治体にお問い合わせください。
- ・掲載後に日程などが変更される場合もありますので、お出掛けされる場合は、事前に各自治体にお問い合わせください。
- ・主なるイベントなどが予定されていない自治体は、掲載しない場合もあります。

☎企画政策課 ☎72-6939

広告募集中

- ◆1号広告(タテ4.5cm×ヨコ17.8cm)
掲載料：1回10,000円、連続6回50,000円)
 - ◆2号広告(タテ4.5cm×ヨコ8.8cm)
掲載料：1回5,000円、連続6回25,000円)
- ※いずれも一色刷り

- ◆申し込み方法
町公式ウェブサイトで「広告掲載申込書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、必要書類を添付して総務課までお申し込みください。

詳しくは
総務課まで!!
☎72-2111

❖お誕生おめでとう❖

氏名	父・母	行政区
長久保匠未(たくみ)	勝之・麻子	仲町
草野 湊(みなと)	佳祐・聡美	皮籠石
会田 鈴(すず)	俊也・佳織	飯豊上

(7月届出分)

❖おくやみ申し上げます❖

氏名	年齢	行政区
石井 初子	82	浮金
矢内ミツヨ	94	夏井

(6月届出分)

郡司 和	88	仲町
先崎 正二	95	反町
鈴木 實	86	荒町
中村 正男	91	荒町
小島 ミヨ	88	谷津作
郡司 高吉	74	浮金
宗像 安之	88	浮金
大竹ヨシ子	85	夏井
佐藤 幸夫	53	湯沢
長久保サチヨ	84	湯沢
常恒 アイ子	89	塩庭二区

(7月届出分)

※この欄は、届出の際に同意を得た方を記載しています。

上水道水質検査結果

7月に実施した水道水の水質検査の結果は、次のとおりです。

試験項目	水質基準	試験結果
一般細菌	100CFU/ml以下	0CFU/ml
大腸菌	検出されないこと	検出せず
塩化物イオン	200mg/l以下	9.4mg/l
有機物(TOC)	3mg/l以下	1.0mg/l
PH値	5.8~8.6	7.2
味	異常でないこと	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし
色度	5度以下	1度未満
濁度	2度以下	0.1度未満

☎地域整備課 ☎72-6936

◆町税等納期のご案内◆

◎納期限：10月1日◎

国民健康保険税 3期

介護保険料 3期

後期高齢者医療保険料 2期



食品などの放射能測定結果

町で実施しているゲルマニウム半導体放射能測定器および非破壊式測定器による検査結果をお知らせします。

【ゲルマニウム半導体放射能測定器による測定結果】

■基準値を超えたものの内訳

月	検体数	検体名	測定結果(Bq/kg)
7	0	-	-

※測定結果の数字はCs134およびCs137の合計値です

■基準値未満または検出限界値以下のもの

月	検体数	検体名
7	17	水道水
	5	井戸水、引き水

※食品以外の検体については、結果に含まれていません

【非破壊式測定器による測定結果】

■基準値を超えたものの内訳

月	検体数	検体名	測定結果(Bq/kg)
7	0	-	-

※測定結果の数字はCs134およびCs137の合計値です

■基準値未満または検出限界値以下のもの

月	検体数	検体名
7	1	枝豆

※食品以外の検体については、結果に含まれていません

◎食品中の放射性物質(セシウム)の基準値

飲料水…10Bq/kg 牛乳・乳幼児食品…50Bq/kg

一般食品…100Bq/kg

【検査を希望される方へのお願い】

- ①土やゴミなどの汚れをきれいに洗い流し、すぐに調理できる状態で持参してください。
 - ②検体は1kgを持参してください。
- ※量が少なく正確な数値が出ない場合があります。

☎健康福祉課 ☎72-6934

■町の人口・世帯数()内は前月比 平成30年8月1日現在

人口	男	4,923人(△1人)
	女	5,065人(△10人)
	計	9,988人(△11人)
世帯数		3,447世帯(3世帯)

福島県現住人口調査結果から

※口座振替の方は、納期限の前日までに口座残高の確認をお願いします。

※国民健康保険税は、コンビニエンスストアでも納付できます。

ただし納付書1枚の金額が30万円を超えたり、納期限後30日を経過した納付書は、コンビニエンスストアでは使用できません。

※口座振替は、指定の口座から納期限日に自動的に振り替えて納付できる便利な制度ですので、ぜひご利用ください。なお利用するためには申し込みが必要です。



◎Let's 理科読 開催

8月1日に「Let's理科読 科学って楽しいね 空気をしてみよう」が行われました。小学生40人が参加し、科学実験や工作、読み聞かせを通して空気について学びました。参加した子どもたちは楽しみながら実験や工作に熱心に取り組んでいました。



新聞紙を張り合わせて、新聞紙ドームをつくり・・・



うちわであおいでふくらませ、全員がドームの中へ・・・



最後は、破って脱出です！

◎こども図書館員講座 特別講座

8月17日に「こども図書館員講座」の特別講座として県立図書館と福島民報社の見学が行われました。町内小学生の親子10組23人が参加しました。県立図書館のバックヤード見学をしたり、新聞社で見学や実際に新聞の号外を作る体験をしました。



県立図書館見学中の様子

◎読書マラソン完走者のご紹介

広報おのまち6月号で2回目の完走をお知らせした長久保咲愛さん(小野新町小1年)が8月に3回目のゴール(300冊読破)を達成しました。長久保さんには再度、完走記念のバッジが贈られました。

読書マラソンはいつでも始められ、期限もないので自分のペースにあわせて参加ができます。ゴール(=100冊読破)した方には記念バッジと図書館バッグを贈呈します。皆さんも100冊読破に挑戦しませんか。



3回目のゴールとなった長久保さん

健康づくりラジオ体操講習会開催

今年度もラジオ体操の専門講師(現NHKテレビラジオ体操指導者)2人を招いて、実演と解説によるラジオ体操講習会を実施します。正しいラジオ体操を継続して行う習慣を身に付けることで、更なる健康維持・増進を図ることができます。参加は無料ですので、ぜひご参加ください。

- 1 開催日時 9月16日⑨午前9時から午前10時30分まで
- 2 開催場所 多目的運動施設(町民体育館)
- 3 参加方法 電話にてお申し込みください
(名前・年齢・電話番号をお聞きます)
※団体での申し込みも大歓迎です

☎町民体育館 ☎72-2518

NHKテレビ・ラジオ体操出演者



多胡 肇
(たご はじめ)
出身地：東京都



吉江 晴菜
(よしえ はるな)
出身地：千葉県



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。